

令和 8 年度当初予算  
令和 7 年度 2 月補正予算  
の概要  
市町村・地域振興部

令和8年度当初予算総括表

〔一般会計〕

市町村・地域振興部（単位：千円、％）

款 名	項 名									比較				財源内訳（令和8年度当初予算）			
		令和7年度 12月補正 （経済対策） A	令和7年度 2月補正 （経済対策） B	令和8年度 当初予算額 C	合計 （16か月予算） D=A+B+C	令和6年度 12月補正 （経済対策） E	令和6年度 2月補正 （経済対策） F	令和7年度 当初予算額 G	合計 （16か月予算） H=E+F+G	16か月予算		当初予算		国支出金	地方債	その他	一般財源
										増 減 D-H	伸 率 D/H	増 減 C-G	伸 率 C/G				
2 款 総務費	1項 総 管 理 費			20	20			20	20	0	100.0	0	100.0			30	△ 10
	4項 市 町 村 地域振興費		365,000	24,912,989	25,277,989	276,149		13,418,698	13,694,847	11,583,142	184.6	11,494,291	185.7	458,693	9,374,100	1,985,091	13,095,105
	5項 選 挙 費			124,909	124,909			2,679,232	2,679,232	△ 2,554,323	4.7	△ 2,554,323	4.7	2,078		2	122,829
合 計		0	365,000	25,037,918	25,402,918	276,149	0	16,097,950	16,374,099	9,028,819	155.1	8,939,968	155.5	460,771	9,374,100	1,985,123	13,217,924

※ 本庁組織再編のため、令和8年度当初予算の款項目をベースとして、経済対策に係る補正予算の款項目を整理している。

〔特別会計〕

会 計 名									比較				財源内訳（令和8年度当初予算）			
	令和7年度 12月補正 （経済対策） A	令和7年度 2月補正 （経済対策） B	令和8年度 当初予算額 C	合計 （16か月予算） D=A+B+C	令和6年度 12月補正 （経済対策） E	令和6年度 2月補正 （経済対策） F	令和7年度 当初予算額 G	合計 （16か月予算） H=E+F+G	16か月予算		当初予算		国支出金	地方債	その他	一般財源
									増 減 D-H	伸 率 D/H	増 減 C-G	伸 率 C/G				
市町村振興基金			54,137	54,137			34,210	34,210	19,927	158.2	19,927	158.2			54,137	

令和 8 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
市町村 政策支援課	2	4	4	<p>⑨ 市町村の 未来デザイン 応援費</p>	4,164	0	<p><b>1 事業の目的</b> 政策立案コンテストの実施を通して、市町村職員の政策立案能力向上による人材育成を図り、市町村の政策立案を促進する。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) <b>政策立案コンテストに向けた市町村への伴走型支援</b> <span style="float:right"><u>3,218</u></span>  ・市町村職員及び県の関係課職員、民間企業職員を交えたグループワークや、大学教員等の有識者・省庁職員等によるアドバイス等の支援を実施。</p> <p>(2) <b>市町村政策立案コンテストの実施</b> <span style="float:right"><u>946</u></span>  ・グループワークの集大成として政策立案コンテストを実施。  ・優秀政策は事業化に向けた支援を実施。</p>
				市町村 D X 伴走支援費			<p><b>1 事業の目的</b> デジタル人材が不足する市町村に外部の D X 人材及び県職員を派遣することなどにより、市町村のデジタル化を支援する。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) <b>「ふくおか市町村 D X 支援人材プール」の構築</b> <span style="float:right"><u>12,501</u></span>  外部の D X 人材及び県職員による人材プールを構築し、市町村における D X 推進を市町村職員と共に実務を行いながら支援  [支援内容]⑨ 全体方針の策定など外部専門家の知見が必要な課題に対する外部デジタル人材 (D X プロデューサー) の派遣  ⑨ プロジェクトの企画・調達・運用に対する県職員による伴走支援</p> <p>(2)⑨ <b>デジタル人材育成コンテンツの共同調達</b> <span style="float:right"><u>0</u></span>  教材を希望する市町村で共同調達し、市町村のデジタル人材を育成</p>

令和 8 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課（室）名	科 目			主 要 施 策 事 項 名	予 算 額	前 年 度 予 算 額	事 業 の 概 要
	款	項	目				
市 町 村 政 策 支 援 課	2	4	4	移 住 ・ 定 住 促 進 費	184,264	163,385	<div>1 事業の目的 移住に関する情報の分析結果をWEB広告や移住施策のブラッシュアップに活用し本県への移住促進を図るとともに、県内企業に就職する学生等の移転費等を支援。</div> <div>2 事業の概要 (1)新「福岡に住まんと！」推進事業の実施10,019 ・移住相談センターの相談情報やポータルサイトのアクセスデータを分析 ・検索エンジンやSNSでのWEB広告、動画配信の実施 ・移住相談者のニーズを洗い出し、各種移住施策をブラッシュアップ ・情報の分析結果を市町村と共有し、市町村の移住施策を支援 (2)拡大学等卒業後に県内企業に就職する学生等への支援強化5,082 ・東京都内に本部を置く大学の東京圏内のキャンパスに在学する大学生等の就職活動に伴う交通費及び就職に伴う移転費を支援</div>
	総務費	市町村地域振興費	地域振興費				
＜移住・定住促進事業の既存事業体系(重点以外)＞							
(1) 全国に向けた情報発信（H26～）12,299 ○ ガイドブック、WEB、SNSを活用した情報発信 ・移住定住ポータルサイト ・「ふくおかファンクラブ」の運営 ・移住ガイドブックの改訂 ○ 大規模相談会を契機とした移住・定住強化促進							
(2) 移住希望者への相談対応（H27～）42,047 ○ 移住相談窓口(東京、福岡)の運営							
(3) 移住希望者への体験機会の提供（R4～）16,167 ○ 居住・就業・交流体験事業 ○ 地域課題を持つ市町村と県外企業との持続的な交流を促進 ○ 二地域居住の促進を通じた市町村の空き家対策取組支援							
(4) 県内就業・移住の促進(R2～)98,650 ○ 移住支援金の支給等							
合 計169,163							
市 町 村 政 策 支 援 課	2	4	4	新 助 け タ イ ( 隊 ) ! 福 岡 の 地 域 伝 統 行 事 支 援 費	2,942	0	<div>1 事業の目的 地域外の個人や企業・団体、大学・高校、自衛隊と伝統行事の実施団体をマッチングさせ、地域の伝統行事の担い手を確保することで、地域内外の人同士の交流を深める。</div> <div>2 事業の概要 (1) 企業・団体、大学・高校、自衛隊に対する登録の促進305 ・企業・団体、大学・高校、自衛隊に働きかけ、従業員や学生等の登録を促す。 (2) ボランティア証明書の発行193 ・学生等の行事への参加を促進するためのボランティア証明書を専用HPで申請、受付、発行。 (3) 専用HPの管理・運営、情報発信の充実のための改修2,444 ・隊員を募集、登録、派遣するためのHPの管理、運営 ・隊員を募集するためのPR動画制作 ・活用団体、隊員の声及びPR動画を掲載するためのHP改修</div>
	総務費	市町村地域振興費	地域振興費				

令和 8 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課（室）名	科 目			主 要 施 策 事 項 名	予 算 額	前 年 度 予 算 額	事 業 の 概 要
	款	項	目				
市 町 村 政 策 支 援 課	2	4	4	日 田 彦 山 線 沿 線 地 域 振 興 事 業 費	123,659	185,680	<div>1 事業の目的 「福岡県日田彦山線沿線地域振興基金」を活用し、日田彦山線沿線地域の東峰村及び添田町の地域振興を支援する。</div> <div>2 事業の概要 県、東峰村、添田町が共同で実施する事業及び東峰村、添田町が実施する地域振興に資する事業</div> <div>【主な事業】 (1) 県、東峰村、添田町が共同で実施する事業 ・ ④B R T利用促進に係る P R 事業（英彦山での登山イベントの実施、沿線地域に関する漫画を県内の大学生・高校生から募集し、優秀作品を B R T内に掲出する取組の実施） ・ ⑤ ひこぼし映画祭事業  (2) 東峰村が実施する事業への助成 ・ 筑前岩屋駅前の「湧水の駅交流拠点施設（仮称）」の実施設計 ・ 地域の特産品開発事業（アロマ製品の開発・蒸留器購入）  (3) 添田町が実施する事業への助成 ・ ⑤ 旧添田駅舎トイレ等改修事業 ・ ⑤ そえだ巡りデジタルスタンプラリー ・ 豊前栲田駅周辺の整備</div> <div>日田彦山線沿線地域振興推進協議会等の開催</div>
	総務費	市町村地域振興費	地域振興費				
日田彦山線沿線地域振興に向けた施策（千円）							
実施主体		内 容			事業費		
県、東峰村、添田町		④ BRT利用促進に係るPR事業			7,035		
		芸術による交流促進事業			19,650		
		⑤ ひこぼし映画祭事業			2,970		
		英彦山エリアへの海外映画・ドラマのロケーション誘致の推進			495		
東峰村		地域が潤う産業振興を図るための地域資源活用事業			4,072		
		岩屋駅前の「湧水の駅交流拠点施設」（仮称）の実施設計			16,500		
		地域の特産品開発事業（地域資源を活用した特産品（アロマ製品）の開発）			6,666		
		地域の特産品開発事業（アロマ蒸留器の購入）			6,160		
添田町		災害伝承館リニューアル事業			34,996		
		⑤ 旧添田駅舎トイレ等改修事業			1,385		
		⑤ そえだ巡りデジタルスタンプラリー			533		
		地域振興イベント（BRT利用促進のためのイベント等）			4,302		
		観光大使の協力のもと、地域の特産品となる商品（第2弾）を開発			799		
		「豊前栲田駅」周辺の整備			15,490		
合 計					121,053		

令和 8 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
市町村政策支援課	2	4	4	市町村地域振興費	19,064	21,850	<p><b>1 事業の目的</b> 県内において、特に人口が減少しており、経済面でも低迷している県境地域(豊築・有明)について、隣県や関係市町と連携し、各部横断で事業を実施することにより、地域活性化につなげる。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) <b>④ 県と県の真ん中から！「ほーちく」「ありあけ」プロモーション</b> <u>10,116</u>  ・福岡都市圏の飲食店と連携したプロモーション活動 等  【豊築】地域内の食材を活かした地域共通のブランド商品を開発  【有明】地元のワンヘルス認証食材を活用し、オリジナルメニューを開発・提供  ・移住相談会に隣県とブースを共同出展し、関係市町の移住相談を実施</p> <p>(2) <b>④ 地域資源(立花宗茂)を活用した県境地域の魅力発信</b> <u>8,948</u>  ・隣県及び関係市町と連携し、県境地域の魅力、立花宗茂ゆかりの地や人物を情報発信するイベントの開催  ・東京都内におけるイベントでの大河ドラマ招致委員会と連携した県境地域の魅力発信</p>
<部横断連携施策に係る主な事業一覧>							
担当部	担当課			重点施策名	事業内容		事業費 (千円)
政策企画部	国際政策課			外国人との相互理解促進費	○外国人との共生社会形成に向けた相互理解促進、地域住民との交流・生活相談の拠り所となる新たな拠点づくり(日本語教室等)		8,591
市町村・地域振興部	市町村政策支援課			県境地域振興推進費	○県と県の真ん中から！「ほーちく」「ありあけ」プロモーション 等		10,116
					○地域資源(立花宗茂)を活用した県境地域の魅力発信		8,948
	交通政策課			交通空白解消集中対策費	○「広域的な協議の場」を通じたコミュニティバス等の地域交通網の最適化を支援		22,705
人材育成・活躍推進部	青少年育成課			豊築こどもオープンファクトリー開催事業	○地域ならではの職業体験や工場見学を提供することも向け仕事体験イベントの開催		7,454

令和 8 年度 当初 予算 編 成 に 伴 う 主 要 施 策

(単位：千円)

課（室）名	科 目			主 要 施 策 事 項 名	予 算 額	前 年 度 予 算 額	事 業 の 概 要
	款	項	目				
市 町 村 政 策 支 援 課	2	4	4	① 嘉 飯 圏 域 魅 力 発 信 費	5,210	0	<div>1 事業の目的 福岡都市部への一極集中の流れを変え、県内各地に「極」を作るため、交通の要衝であり豊かな自然や多様な文化資源・観光資源を有する嘉飯圏域の振興に取り組む。</div> <div>2 事業の概要 (1) ふくおかの「へそ」魅力体験フェアの開催5,210 ・嘉飯地域の食材を活用したメニューを福岡都市圏・首都圏の飲食店で提供 ・嘉飯地域の首長による首都圏内飲食店でのトップセールス ・福岡都市圏及び首都圏の飲食店での映像放映（食材及び地域のPR） ・フェア実施店舗でのデジタルスタンプラリー  (2) ふくおかの「へそ」魅力発信PRの実施0 ・圏域の特産品の販売や地域の紹介等を行う魅力発信イベントの実施（福岡銀行本店前、県庁よかもん広場、県庁ロビー 等） ・県主催のイベントにおいて、圏域の魅力を発信。</div>
	総務費	市町村地域振興費	地域振興費				

令和8年度 嘉飯地域の振興に係る関連事業

施策名	事業内容	事業費 (千円)
(新) ふくおかの「へそ」 魅力体験フェア	嘉飯地域の食材を活用したメニューを開発し福岡都市圏や首都圏の飲食店で提供	5,210
(新) ふくおかの「へそ」 魅力発信PR	圏域の特産品の販売や地域の紹介等を中心とした圏域の魅力発信イベントの実施	
(新) e-ZUKA TECH GUILD事業費	起業を目指す学生・研究者を支援するため、企業・学生・研究者が集い、IT技術を活用して企業が抱える課題にチャレンジする拠点を飯塚研究開発センターに設置 等	27,825
(新) 医療福祉関連機器産業 振興強化費	中小企業を対象として新たに医療福祉機器産業に参入する県内企業を支援	8,822
嘉飯桂地域未来の 地域リーダー育成 プログラム事業	中学生を対象に、地域に愛着と誇りを持ち、将来地域や様々な分野で活躍するリーダーを育成する「嘉飯桂未来塾」を実施	4,298

令和 8 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
交通政策課	2	4	4	交通空白解消 集 中 対 策 費	113,687	15,554	<b>1 事業の目的</b> 県内交通空白の解消を図るため、市町村間の広域調整や伴走支援により、国の補助金を活用した市町村交通空白解消の取組を促進するとともに、データ利活用による地域交通網の最適化や広域モビリティハブ機能の構築等、複数市町村が連携した取組を支援するもの。
							<b>2 事業の概要</b> <b>(1) 市町村間の広域運行に向けた段階的支援・調整</b> <span style="float:right"><u>4,509</u></span> ①広域調整のための協議の場の設置 ②有識者アドバイザーの派遣 ③課題解決に寄与する民間事業者とのマッチング支援  <b>(2) 個別で取り組む市町村への段階に応じた支援</b> <span style="float:right"><u>13,316</u></span> ①公共ライドシェアやAIオンデマンド交通導入などに関する研修会の開催 ②有識者アドバイザーの派遣 ③課題解決に寄与する民間事業者とのマッチング支援  <b>(3) ⑧ コミュニティバス等の地域交通網の最適化を支援</b> <span style="float:right"><u>22,705</u></span> ①データ利活用による地域交通網の最適化に向けた支援 複数市町村で構成される「広域的な協議の場」において、交通利用者の移動データ等を分析し、最適な地域交通網の検討や改善施策を実施 ②「専門プロジェクトチーム(仮称)」の設置 市町村による交通事業者保有データ利活用に係る環境整備やコミュニティバスの運行効率化、非交通系事業者(医療・福祉、教育等)との連携等に向けた関係者による会議を実施  <b>(4) ⑧ 広域モビリティハブ機能の構築支援</b> <span style="float:right"><u>10,000</u></span> 複数市町村の連携による地域公共交通の結節点における待合環境構築に向けた待機設備やスマートバス停等の整備を支援  <b>(5) ⑧ コミュニティバス等のリアルタイムオープンデータの整備</b> <span style="float:right"><u>9,583</u></span> 複数市町村の連携により広域運行するコミュニティバス等の遅延情報や車両位置情報等を提供するシステムを構築  <b>(6) ⑧ 広域運行するコミュニティバスへの運行費支援</b> <span style="float:right"><u>53,574</u></span>
	総務費	市町村地域振興費	地域振興費				



令和 8 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
交通政策課	2	4	4	地域公共交通 運転手確保 対策費	25,618	0	<p><b>1 事業の目的</b> 2024年問題等により一層深刻化した運転手不足の状況を改善するため、バス・タクシー運転手及び地域鉄道運転士を確保する事業を集中的に実施することにより、日常生活の移動手段として必要不可欠な地域公共交通の維持・確保を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p><b>(1) ⑨バス・タクシー事業者人材参入促進・定着支援</b> <span style="float: right;"><u>8,800</u></span> 人材確保や、人材育成、人材定着の取組に関する十分なノウハウを持たない交通事業者に対し、アドバイザーによる個別支援を実施</p> <p>[対象] バス・タクシー事業者 10社 [内容] 交通分野に精通し、最適な人材確保・定着のサポートが可能なアドバイザーを派遣 [支援期間] 概ね半年以上、対面支援に加えオンラインや電話等により具体的な成果に結びつくまで継続的な支援を実施</p> <p><b>(2) ⑨バス運転手・地域鉄道運転士就職奨励金</b> <span style="float: right;"><u>16,818</u></span> 3大都市圏から県内への移住に伴う収入減の不安を払拭するため、乗合バス事業者又は地域鉄道事業者に新たに運転手（士）として就職する者に就職奨励金を支給</p> <p>[対象] 3大都市圏から県内市町村に転入し、福岡県内の路線を運行するバス事業者又は地域鉄道事業者に新たに就職する者 [要件] 申請時において、事業者に運転手（士）または養成運転手（士）として雇用され3カ月以上勤務していること [奨励金額] 600千円</p>

令和 8 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
空港事業課	2	4	4	北九州空港 貨物輸送 ネットワーク 構築費	708,867	647,804	<p><b>1 事業の目的</b> 北九州空港の貨物拠点化に向け、貨物輸送ネットワークの構築を図ることで、県内のみならず、九州・西中国地域の発展に繋げる。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 貨物便の運航に対する助成 <u>95,439</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際貨物便の運航に係る経費を一部助成</li> <li>⑨ 欧米便就航を見据えた国際貨物便の運航に要する経費を一部助成</li> </ul> <p>(2) 貨物取扱量増加に向けた集貨助成 <u>508,429</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内・国際貨物の輸送に係る経費を一部助成</li> <li>半導体貨物集貨促進のため貨物利用運送事業者及び荷主に対して輸送経費を一部助成</li> </ul> <p>(3) 周辺環境整備及び貨物受入体制強化に対する助成 <u>104,999</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空港周辺に進出する貨物利用運送事業者等に対して進出経費を一部助成</li> <li>⑨ 貨物受入体制強化のため、荷役効率化に資する設備投資やグランドハンドリング体制整備等に係る経費を一部助成</li> </ul>
				北九州空港 旅客路線再生 事業費	173,159	170,372	<p><b>1 事業の目的</b> 航空会社に対し運航に必要な経費を助成することにより、運休・減便中の路線の復便、既存路線の定着・安定運航や増便、新規路線の就航を促し、北九州空港の旅客路線の再生を目指す。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 定期便及びチャーター便に対する運航助成 <u>163,186</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際定期便及び国内定期便の運航に係る経費を一部助成</li> <li>⑨ 基幹路線の国際定期便の運航に係る経費を一部助成</li> <li>国際チャーター便の運航に係る経費を一部助成</li> </ul> <p>(2) 新規定期便就航に係る初期費用助成 <u>3,720</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規定期便の運航開始に必要な設備の整備費用を一部助成</li> </ul> <p>(3) 路線誘致活動他 <u>6,253</u></p>

令和8年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
文化政策課	2	4	4	⑨ 舞台芸術鑑賞・体験機会充実費	20,850	0	<p><b>1 事業の目的</b> 舞台芸術の鑑賞・体験機会の充実を図るため、九州を代表する九州交響楽団と日本を代表する東京バレエ団とが連携し、アクロス福岡で公演やワークショップを開催する。</p> <p><b>2 事業の概要</b>  <b>(1) 舞台芸術に触れる機会の充実</b>  <b>①東京バレエ団福岡公演の開催</b> <span style="float:right"><u>19,414</u></span>  ・アクロス福岡において、日本を代表する東京バレエ団による、古典バレエの名作公演を開催。  ・併せて、九州交響楽団と連携した県民・子どもが参加できる体験型ワークショップを実施。</p> <p><b>②協賛企業獲得に向けた交流イベントの開催</b> <span style="float:right"><u>1,436</u></span>  ・県内企業等を東京バレエ団の公演に招待し、トップレベルの舞台芸術の魅力を体感する機会を創出。  ・公演後に招待企業等、九州交響楽団、バレエ団の交流イベントを開催、公演開催・集客に伴う経済効果の波及等について理解を求め、次年度以降の公演に向けた機運醸成と支援・協力体制の形成を図る。</p>
九博・世界遺産文化施設課	2	4	4	⑨ 大濠公園能楽堂40周年プロジェクト費	84,438	0	<p><b>1 事業の目的</b> 大濠公園能楽堂開館40周年を契機に、能楽をはじめとする伝統芸能の魅力を発信するため、記念式典や大濠公園全体を使ったイベントを実施する。 また、地域に開かれた能楽堂を目指し、カフェを開設する。</p> <p><b>2 事業の概要</b>  <b>(1) 能楽堂開館40周年記念プロジェクト</b> <span style="float:right"><u>24,837</u></span>  <b>①WAKUWAKUトラッドフェスタの開催</b>  ・大濠公園全体を使って、県内の伝統芸能の魅力を伝える公演や伝統工芸品のクラフト体験などを実施  <b>②民間企業との連携企画</b>  ・民間企業等に能楽堂活性化に資する事業を募集し、事業費の一部を補助  <b>③記念式典・記念公演の開催</b>  ・40周年記念式典の開催  ・若手能楽師らを中心に、新時代の能楽公演を実施</p> <p><b>(2) カフェ開設改修工事</b> <span style="float:right"><u>59,601</u></span>  ・カフェ開設工事の実施  ・大濠公園能楽堂の利用サービス向上のため、広間を改修して飲食店を開設</p>

令和 8 年度当初予算編成に伴う主要施策

(単位：千円)

課(室)名	科目			主要施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目				
文化政策課	2	4	4	<b>新</b> 文化芸術 振興基金 立費	4,841,361	0	<p><b>1 事業の目的</b> 文化芸術の力で、心豊かで活力のある元気な「ふるさと福岡」を目指すため、総額約50億円(※)の「福岡県文化芸術振興基金」を設置し、中長期的な文化芸術振興施策を可能とする財源を確保する。 本基金を寄附等外部資金の受け皿とし、福岡の文化芸術活動を支える「応援団」作りを行う。</p> <p style="text-align: right;">※既存の「福岡県立美術館美術品取得基金(2億円)」+48億円積立(R8当初予算)</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p><b>(1) 福岡県文化芸術振興基金積立金</b> <span style="float: right;"><u>4,800,000</u></span>  <b>【新基金対象事業】</b></p> <p style="margin-left: 20px;">I 世界水準の芸術の誘致            企画・実施までに複数年度を要する中期的な取組の財源の確保            ・トップレベルの文化芸術公演を誘致            ・新美術館における魅力のある展覧会の企画・実施            ・美術品の取得</p> <p style="margin-left: 20px;">II 未来への投資            県の文化芸術を育て、未来につなぐための長期的な取組の財源の確保            ・文化芸術を担う人材の育成・支援            ・文化芸術を牽引する取組を次世代へつなぐ支援</p> <p><b>(2) 基金運用益</b> <span style="float: right;"><u>41,361</u></span></p>